

自然から学ぼう

6月6日、わんぱく公園睡蓮の谷（語らいの森）で行われた森の学校には約100人が参加しました。森の木陰で、ミニ絵本「木の詩」の読み聞かせのあと、参加者はたくさん用意された竹筒のなかから好みの太さのものの選んでミニ竹馬づくりに挑戦。子どもたちはカポカポと音を谷中に響かせながら歩きまわっていました。



完成したミニ竹馬で遊ぶ親子

苗束を持って少しずつ丁寧に植えていく参加者



海老谷で米作り体験

5月30日、海老谷の棚田オーナーによる田植えには、10グループ約60人が参加しました。棚田の割り当てを行い、地元代表の峯本さんから田植えの説明を受けたあと、参加者は田んぼの温かい水とぬるぬるした泥の感触を楽しみながら、田植えを行いました。

観客を魅了した中島啓江さん



透きとおるような歌声に

中島啓江“伝えたい”コンサートは、6月5日市民交流センターで行われました。「花」「千の風になって」など14曲、中島さんの透きとおるような歌声に、観客の皆さんは聴き入っていました。また曲の間に中島さんは、小さいころの思い出話やお母さんから教わった「ありがとう」という言葉の大切さを語ってくれました。

ともに働きやすい社会に

男女共同参画セミナーは5月26日、海南保健福祉センターで開催され、155人が参加しました。講師の松原敏美さんは、男女共同参画について、和歌山県の離婚率や、共働きと子育ての関係などさまざまな観点からグラフや事例を交えて説明し、女性の社会参加に対する社会全体による支援とワーク・ライフ・バランスの大切さを語りました。



女性弁護士として自らの体験を語る松原さん

真剣に説明を聞く生徒



防災教室を開催

6月14日、海南第二中学校の一年生を対象に防災教室が行われました。増田防災専門員からの地震と津波に関する説明や、津波シミュレーション、阪神淡路大震災当時の映像などで防災に対する理解を深めました。生徒からは、「自分の家が津波で浸水する地域だと初めて知った」「津波のときは中学校へ避難すればいいと分かってよかった」との声が聞かれました。

文化財の見学会

国の登録有形文化財に登録されている山本家住宅、山本勝之助商店の一般公開は5月22日、13時からと15時からの2回行われ、あわせて22人が参加しました。参加者は建築士会海南・海草支部メンバーによる説明を聞きながら、特徴のある黒漆喰の外壁や普段は見ることのできない建物の内部を熱心に見学していました。



玄関前で説明をうける参加者

婦人会の方々と一緒に作業をする海南下津高校の生徒



学校周辺に彩りを

6月9日、海南下津高校の生徒と地区婦人会による花植えが行われました。生徒たちは、マリーゴールドやサルビアなどの花を学校内のプランターのほか、普段、通学によく利用する加茂郷駅の駅前に設置されたプランターに植えていきました。